



本事業は、SDGsの「17 パートナリツプで目標を達成しよう」に資する取組です。

2026年5月19日(火)  
愛知県経済産業局海外連携推進課  
海外連携グループ  
担当 中野、土本  
内線 5189、5181  
ダイヤル 052-954-7474

## 知事の米国渡航中の行事結果について

2026年5月18日(月)知事は米国カリフォルニア州サンフランシスコにて、スタンフォード大学を訪問し、アジア・米国技術経営研究センター所長のリチャード・ダッシャー教授と面談しました。次に、量子コンピューティングの世界的パイオニアであるRigetti Computing社の製造施設を訪問し、実用化に向けた同社の開発状況を視察しました。続いて、エヌビディアNVIDIAのフィジカルAI基盤を活用した完全自律型産業用ロボットの開発・製造を行うRoboForceを訪問し、同社開発品の実機によるデモンストレーションを視察しました。

### 1 スタンフォード大学リチャード・ダッシャー教授との面談

(担当課：海外連携推進課)

#### (1) 日時

2026年5月18日(月)午前9時から午前9時45分まで

(日本時間5月19日(火)午前1時から午前1時45分まで)

#### (2) 場所

スタンフォード大学(スタンフォード市)

#### (3) 面談者

アジア・米国技術経営研究センター所長 リチャード・ダッシャー教授

#### (4) 愛知県側出席者

大村秀章知事

#### (5) 内容

大村知事は、シリコンバレーのスタートアップ・エコシステムの中核であるスタンフォード大学を訪問し、日米のイノベーション動向に精通するダッシャー教授と面談しました。

冒頭、大村知事は、前回訪問(2024年5月)でダッシャー教授から助言があったカリフォルニア大学バークレー校との連携について、昨年度から同校のバークレー・スカイデックと連携したスタートアップ向けプログラムが開始できたことや、昨年度、シリコンバレーをはじめとする米国のスタートアップ・エコシステムを学ぶために本県職員の同センターへの派遣を受け入れていただいたことについて、謝意を述べました。

続いて、ダッシャー教授から、シリコンバレーの動向と今後の技術トレンド等に関

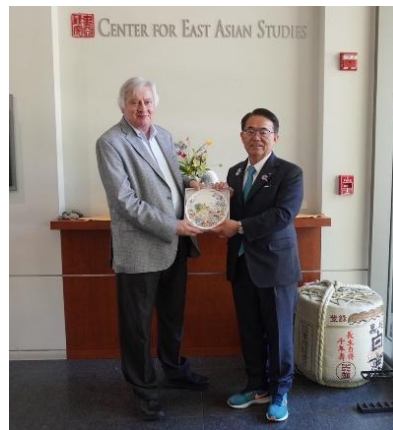
し、自動運転タクシー、配達ロボットやドローンを含めた自動運転技術のさらなる進展と eVTOL（空飛ぶクルマ）などによるエアタクシーが実用化に近づきつつあることや、量子コンピューティングへの投資が昨年から急増しており、実用化への期待が高まってきていること等についての説明がありました。

その後、日本や愛知県にてイノベーションを起こしていくことについて意見交換を行い、ダッシャー教授からは、「オープンイノベーションは、いかに新しい価値や新事業を創出するかという取組だが、日本の企業は既存事業の改善やアウトソーシングと混同しがちであることが課題である。」との示唆がありました。

最後に、大村知事から、今年 12 月に開催が予定されている「TechGALA Japan 2026: BEYOND」への登壇について打診したところ、ダッシャー教授からは、「このイベントはイノベーションの加速に向けて非常に意義のあるものであり、是非参加したい。」との返答がありました。



面談の様子



記念撮影

#### 【スタンフォード大学概要】

設立：1891 年

学生数：約 18,000 人

概要：イギリスの高等教育専門誌「タイムズ・ハイヤー・エデュケーション」が公表している世界大学ランキング 2026 で世界第 5 位と高い評価を受けている総合大学。

Google やナイキ、ネットフリックス等の創業者を輩出し、スタートアップへの資金提供も積極的に行っている。

## 2 Rigetti Computing 訪問

(担当課：海外連携推進課)

### (1) 日時

2026 年 5 月 18 日 (月) 午前 10 時 30 分から午前 11 時 45 分まで  
(日本時間 5 月 19 日 (火) 午前 2 時 30 分から午前 3 時 45 分まで)

### (2) 場所

Rigetti Computng Fab-1 (フリーモント市)  
ファブーワン

### (3) 応対者

- ・カメシュワル・ヤダヴァリ 製造担当副社長
- ・マイク・ピーチ 事業開発担当副社長
- ・ユヴラジ・モハン 量子技術プログラム主任マネージャー

### (4) 愛知県側出席者

大村秀章知事

### (5) 内容

大村知事は、カリフォルニア州に本社を置く、量子コンピューティングの世界的パイオニアである Rigetti Computing の製造施設を訪問しました。

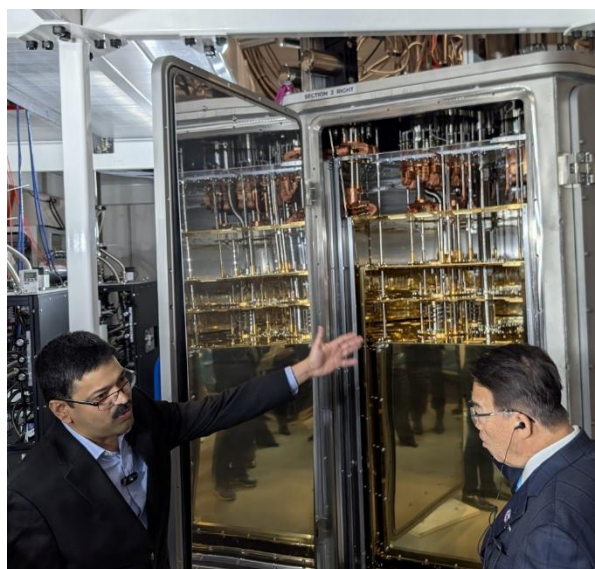
初めに、同社から、現在の主流であり最も実用化に近い方式の一つであるとされる超電導方式を採用し、近年大幅に演算精度を高めていること、また、素材開発や創薬をはじめとする化学分野のシミュレーションや物流の最適化、機械学習等において、従来のコンピュータに対して大幅なアドバンテージを持つ可能性があること等、実用化に向けた開発状況について説明がありました。

これを受けて大村知事は、「とても素晴らしいプロジェクトであり、成功を期待している。」と述べたうえで、開業から1年半となる STATION Ai の現状や取組について説明し、「愛知県には自動車産業をはじめ、航空宇宙産業やロボット産業等、世界でも有数の製造業の集積がある。そして STATION Ai のパートナー企業は、米国でも多くの生産拠点を展開している。」と述べ、Rigetti Computing にとって STATION Ai と連携するポテンシャルが大きいことに言及しました。さらに、「高い技術を有する県内企業が、ハードウェアの製造技術や冷却技術等において、Rigetti Computing のサプライチェーンの一角を担うポテンシャルがある。」と述べ、「是非 STATION Ai を訪問して、パートナー企業等とのマッチングやセミナーなどへの登壇を検討頂きたい。」と提案しました。

Rigetti Computing からは、「STATION Ai には大変興味を持っている。是非日本を訪問したい。」との発言がありました。その後、同社の量子コンピュータ製造施設を視察し、日本から導入した生産設備も多いことや、世界中の大学や研究機関等において同社の量子コンピュータの配備が既に進んでいることについて説明を受けました。



ヤダヴァリ製造担当副社長と記念品交換



製造施設視察の様子



参加者のみなさんと記念撮影

【Rigetti Computing 概要】

- 設立 2013年
- 創業者 チャド・リゲッティ（元 IBM 量子研究者）
- CEO スポド・クルカルニ
- 本社 カリフォルニア州バークレー
- 業種 量子コンピュータ開発・製造
  - ・量子チップの設計・製造～量子コンピュータの運用からソフトウェア・クラウドでの商用提供まで一貫して行う。
  - ・D-Wave Systems（カナダ）、IonQ（アイオンキュー）（米メリーランド州）と並び、量子コンピュータの世界3大スタートアップの一つとされる。
  - ・超伝導量子方式（-273度の極低温に冷却した超電導回路に電流を流し量子状態を作る）を採用。
- 従業員 約140人
- 時価総額 約47億ドル

### 3 RoboForce 訪問

（担当課：海外連携推進課）

(1) 日時

2026年5月18日（月）午後2時20分から午後3時05分まで

（日本時間5月19日（火）午前6時20分から午前7時05分まで）

(2) 場所

RoboForce 本社（ミルピタス市）

(3) 主な対応者

- ・カルビン・チョウ 共同創業者兼副社長
- ・ニキル・ドンガデ 事業開発責任者

(4) 愛知県側出席者

大村秀章知事

(5) 内容

大村知事は、NVIDIAのフィジカルAI基盤を活用し、製造現場や建設現場等においてミリ単位の高精度な作業を行うことのできる完全自律型産業用ロボットの開発・製造

を行う RoboForce を訪問しました。

最初にカルビン・チョウ共同創業者兼副社長から歓迎の挨拶があった後、大村知事から、2024年10月に開業した日本最大のスタートアップ支援拠点である STATION Ai の現状と愛知県の取組について説明しました。

さらに、「愛知県には自動車をはじめ、航空宇宙やロボティクス等の製造業が多く集積しており、フィジカル AI の社会実装に向けた協業に関するポテンシャルがある。」と述べました。

ドンガデ氏からは、「STATION Ai と製造業をはじめとした産業集積がある愛知県は、フィジカル AI の開発において大変魅力的な協業先である。」との発言がありました。

次に、RoboForce の事業概要や同社の完全自律型産業用ロボットについての説明を受けた後、屋外での実機による様々なデモンストレーションを視察しました。



ドンガデ氏及び同社の産業用ロボットとの記念撮影



ドンガデ氏との記念撮影

#### 【RoboForce 概要】

- 設 立 2023 年
- C E O レオ・マー
- 本 社 カリフォルニア州ミルピタス
- 業 種 AI ロボティクス／産業用自律ロボット
- ・ NVIDIA のフィジカル AI 基盤を活用し、インフラや太陽光発電・鉱山等、人間にとって危険・過酷・単調な作業を代替・支援することを目的に「過酷環境でミリ精度の作業を行うロボット労働力システム」を開発。
- ・ 人型ロボット（ヒューマノイド）とは距離を置き、特定の産業課題を解決する実用重視の思想を持つ。
- ・ 初期段階では、太陽光発電所にフォーカスし、労働力不足が深刻な屋外作業をターゲットに実装を進めているが、将来的には、鉱業、データセンター、製造業や宇宙への展開を目指す。